

## 学習指導案(教科:地歴公民科)

### 1 授業内容

科目:日本史B

単元:第8章幕藩体制の動揺 4化政文化

### 2 本時の指導計画と評価方法

#### (1) 単元の目標

農村工業の発達などにみられる近代工業の芽生え、新たな学問・思想の発達とその社会的な影響、寺子屋など庶民教育機関の普及に着目し、近代を準備する新しい要素の形成について考察する。

#### (2) 本時の目標

化政文化の特徴と時代背景を理解し、人物・作品・時代背景を関連付けて捉えることができる。

#### (3) 本時の評価規準

(関心・意欲・態度)化政文化に関心をもって、まとめの課題に取り組もうと意欲を示している。

(思考・判断・表現)時代背景や産業の発展を理解し、文化を代表する人物について根拠をもって説明できる。

(知識・理解)化政文化の特徴と時代背景を理解する。

#### (4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (5分)	・前時までの復習  ・学習課題の提示	・一問一答形式で、既習の学習事項(松平定信と水野忠邦の改革の概要)を振り返る。 ・宝暦・天明期の文化が松平定信の寛政の改革により締め付けられていたことも併せて確認する。 ・本時の学習内容である化政文化が、松平の失脚ののち水野の改革までの間、11代将軍徳川家斉の治世において栄えた文化であることを確認する。	・「よく覚えているね」など、学習内容の定着をほめる言葉かけをする。 評価【知識・理解】 既習事項の知識を身につけている。  ・発問を繰り返す中で、生徒の疑問などを拾い、生徒の言葉で学習課題を設定したい。
展開 (35分)	・化政文化についての解説講義	・ <u>三都の発展、交通網の整理など時代背景を視覚的に理解できるようにPDF資料を配布機能で配布する。</u> ・ <u>絵画の写真や文学作品の挿絵など、生徒が文化の特徴を視覚的に理解できるように、PDF資料を配布機能で配布する。</u> ※ClassPad.netでは写真を1枚ずつしか生徒に配布できないので、事前にPDFデータにして取り込んでおく。	・視覚的資料によって化政文化の背景となる社会の様子に興味を持たせたい。 ・作品や人物の羅列的紹介にならないよう、化政文化は現代の文化活動につながる面があることに気づかせたい。 評価【知識・理解】 化政文化の特徴と時代背景を理解する。
まとめ (10分)	・課題の提示 「あなたが化政文化を代表すると考える人物を3人選び、その根拠を示しなさい。」	・ <u>配布機能で課題を配布する。</u> ・ <u>課題を終えた生徒は提出機能で提出する。</u>	・授業内で提出できない場合の提出期限について知らせる。 評価【関心・意欲・態度】 化政文化に関心をもって、まとめの課題に取り組もうと意欲を示している。 評価【思考・判断・表現】 文化を代表する人物とその理由について、時代背景を根拠に説明することができる。

<参考> まとめの課題 生徒の解答例

1	歌川広重 [理由]人々が旅行を楽しむことができるようになり、東海道の名所をガイドブックのようなものに紹介する絵画「東海道五十三次」を描いたから。
2	十返舎一九 [理由]『東海道中膝栗毛』は主人公たちの旅物語なので、人々が旅行を楽しめるようになった背景にあっている。また、滑稽本というコメディ要素のあるジャンルは寛政の改革のころには禁止されていたから。
3	緒方洪庵 [理由]外国からの脅威が知られるようになる中で私塾が開かれ、整備された交通網を使って各地から大坂に蘭学を学びに来たから。

#### (5) ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、展開とまとめの部分である。

(手順)

- 1 絵画資料を生徒に紹介する。  
→ClassPad.netのファイルふせんを活用
- 2 本時の課題をふせんで生徒全員に配布する。  
→ClassPad.netの生徒配布機能を活用
- 3 生徒に課題を提出させる。  
→ClassPad.netの提出機能を活用する。
- 4 教師は授業終了後、生徒の回答を個別に添削する。

(ClassPad.netを活用する効果性について)

- 1 ファイルふせんを活用し、教科書や資料集に記載していない絵画や文学作品も生徒に見せることができる。
- 2 課題を提出させることで、化政文化の特徴や時代背景を理解しているかどうかを確認し、評価することができる。
- 3 生徒個別に回答を添削し、生徒個人への指導ができる。